

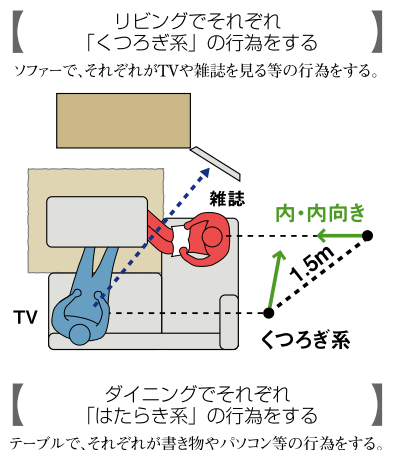


「つかずはなれず」がいい 大人のリビングのある住まい 「LUFT」 ルフト

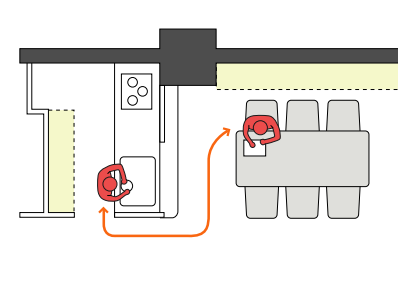
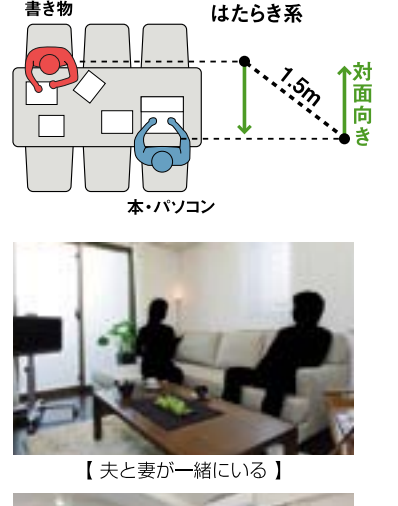
「夫婦も長く続けていると空気がみたいな物で・・・」
見えなくてもそばにいる安心感と、
いなくてはならないかけがえのない人という思いが、そう語らせるのでしょう。
夫婦がそれぞれの居場所を持ちながら、
ゆるやかに繋がり、お互いを大切に思う住まい。
新しい「大人のリビング」を実現するために生まれた
「つかずはなれずリビング」です。
心地よい夫婦の居場所にするため、4つの視点からまとめています。

point 1 距離計画

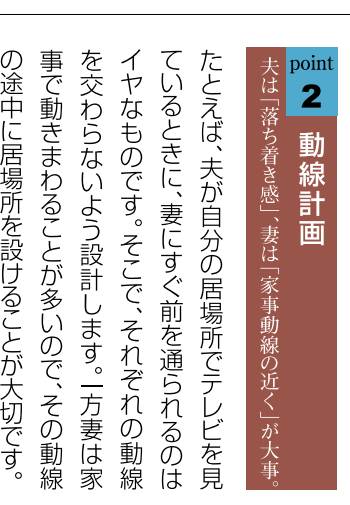
夫婦が一緒にいる
たとえば、夫がテレビ、妻が読書といった「くつろぎ系」の行為、夫がパソコン、妻が手芸といった「はたらき系」の行為を例にとってみましょう。同じ空間にしながら同系統のことで行っている場合、夫婦が心地よくいれる距離は約1.5mが目安で、かつその時の互いの体の方向は内向きか、対面します。いつでももうくに会話を交わすことができ、「ミニミニケンミン」が深手になります。



夫婦が離れている
また、夫婦が同じ場所に居ながら、それぞれ別な系統のことにする場合、約3mの距離が必要です。これはお互いが気にならず、自分がしていることに自然に集中できる距離。その時には互いの体が外に向くことで、より心地よく過ごせます。



point 2 動線計画
たとえば、夫が自分の居場所でテレビを見ているときに、妻にすぐ前を通られるのはイヤなものです。そこで、それぞれの動線を交わらないよう設計します。一方妻は家事で動きまわることが多いので、その動線の途中に居場所を設けることが大切です。
「夫の居場所は、「落ち着き感」」
夫の居場所のよい設計例は、妻の動線が夫の居場所を邪魔しないこと。夫には妻の家事動線から離れた、落ち着ける居場所を確保します。
「妻の居場所は、「家事動線の近く」」
妻の居場所のよい設計例は、家事動線上に設けた動きやすい計画であること。また、部屋全体を見渡せることもポイントのひとつです。

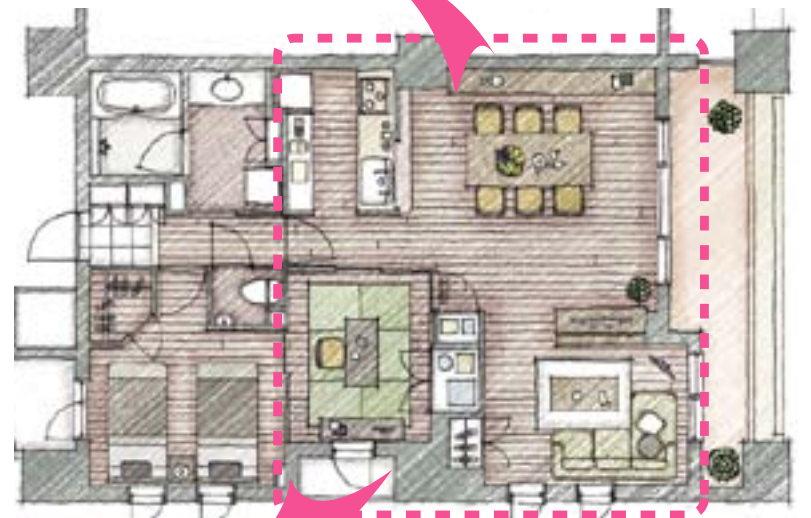


point 3 収納計画

それぞれの収納を確保
夫婦の居場所には、さまざまな物が持ち込まれます。「だしっぱなし」にしないためには、夫婦各々の収納があること、それらがしまえて便利です。たとえば、夫の場合、リビングボードの一部を本棚として使ったり、サイドボードの下にも収納スペースを設置し、趣味のものをまとめます。妻の場合は、居場所の近くである対面キッチンカウンター下収納の一部を専用スペースに当てます。



point 4 まど計画
眺め明るさ、風通し。
「光・風・眺めを採り込む」
居場所の居心地を高めるため、そこからの眺め(窓の位置)を配慮することが重要です。調査によると、次表のように居場所の居心地評価の理由で「眺め」の出現率は、ほぼTVと同程度で高くなっています。居場所に求められる大切な条件は、「明るい」「風通しがよい」「外が見える」などで、夫の居場所、妻の居場所、それぞれの外の眺めにも配慮したまど計画で、光、風、眺めなどを採り込みます。手元も明るくなり、お互いが気持ち良く好きなきこに集中できます。



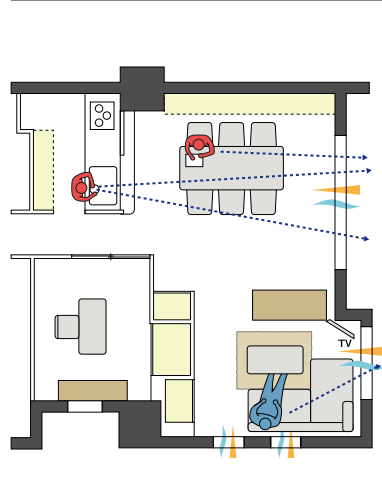
出現数	居場所の居心地評価の理由 (アンケート調査より)			
	夫		妻	
1位	TV	33%	外・眺め	40%
2位	外・眺め	30%	TV	37%
3位	落ち着く	20%	落ち着く	16%
4位	くつろぐ	13%	くつろぐ	14%
5位	新聞・本	9%	新聞・本	10%



共用収納を確保
二層建てのようにガレージや物置の取れないマンションでは、限られた空間をいかに効率よく収納スペースに割り当てるかが重要です。ハーベルハウスの「AREOS」の「かへ面積」という指標は、マンションでも有効

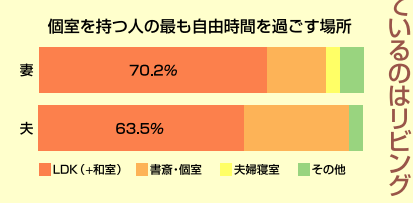


開けば中身が目までわかり、出し入れがしやすい。お客様や家族の集まるリビング空間を、いつでも美しく演出できるのです。



大人のリビング

point 3 自由な時間を過ごしているのはリビング
旭化成のオリジナル調査で、専用の個室を持っている人は、おおよそ妻43%、夫48%。また、たとえお互いに個室を持っていたとしても、最も多く時間を過ごす場所はLDKだということが判明。



point 4 リビングでそれぞれの過ごし方
「リビング」の居場所では、何をしているのかという調査では、各自がそれぞれのことを行っている夫婦が8割強に及びました。典型パターンとして、夫はリビングでTV、新聞、読書。妻はダイニングで手芸、アイロン、家計簿、PC。
そこで、「つかずはなれず」夫婦がそれぞれの居場所を持ちながら、ゆるやかに繋がり、お互いを大切に思う暮らし方。そんな大人のリビングのある住まい「LUFT」ルフトを旭化成は提案します。

※これらのグラフや表は、旭化成オリジナル調査結果から作成したものです。

※LUFTは空気を意味するドイツ語です。